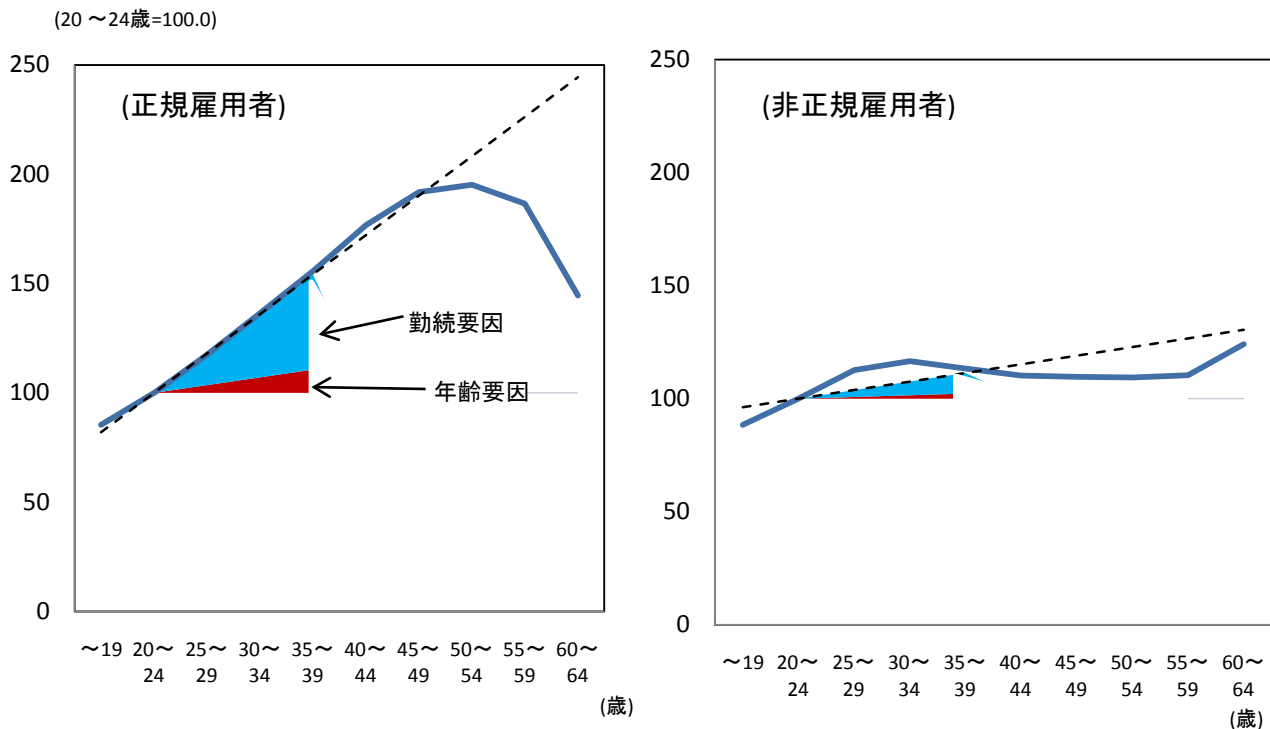


雇用形態別にみた賃金カーブの傾き



資料出所 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」をもとに労働政策担当参事官室にて推計

(雇用の安定と人材育成の機能を結びつけた質の高い雇用機会の創造)

- 賃金構造について、正規雇用者と非正規雇用者に分けてみると、正規雇用者では年齢とともに上昇する賃金カーブを描くのに対し、非正規雇用者の賃金カーブではほとんど上昇がみられない。こうした賃金構造の違いには、非正規雇用者では、労働組合などを通じた賃金交渉力が弱いことの他に、技能形成を進める仕組みが乏しく、その結果、賃金が上昇しにくい状況があるものと考えられる。
- 企業は、職務経験を通じて培われた能力を重視して賃金を決めており、正規雇用者の賃金における勤続要因は大きい。雇用の安定と人材育成の機能を相互に結びつけ、安定したより質の高い雇用機会を創造していくことが重要である。